

令和7年度

NO. 8



鷺頭だより

○小中一貫教育目標

『志をもって 自分をみがき ともに
挑戦する たくましい大平の子』

○大平中学校 学校教育目標

高き志をもち、自ら学び、未来を切り拓く生徒
～広がりのあるかかわり合いをとおして～

3年生 志宣言

3月6日（金）に3年生が、下級生に向けて「志宣言」のスピーチを行いました。

志宣言とは、将来どのように人の役に立ち、社会や未来のために何を実現していきたいのか、自分の生き方や目標を「志」として自分の言葉で語るものです。どの生徒も、自分のこれまでの学校生活や日常の経験を振り返りながら、努力してきたことや、そこから得た気づきをもとに、自分なりの志をしっかりと語ることができました。また、思いを言葉にするだけでなく、その志に近づこうと日々の生活の中で実際に行動してきたことも伝わってきました。

堂々と自分の考えを語る3年生の姿はとても頼もしく、下級生にとってもよい手本となるものでした。志をもって努力を続けることの大切さを、後輩たちにしっかりと示してくれた時間となりました。

これからそれぞれの進路へと歩いていく3年生が、この志を胸に、自分らしく社会の中で活躍していくことを心から願っています。



3年生を送る会

3月12日（木）の3年生を送る会では、これまでお世話になった3年生への感謝の気持ちを込めて、1・2年生が心のこもった発表を行いました。

会の中で、思わず笑顔になるクイズや、3年間の思い出を振り返るスライドショーが披露され、会場は和やかな雰囲気になりました。スライドに映し出される一場面一場面からは、3年生が仲間とともに積み重ねてきたかけがえのない時間が感じられました。

また、1・2年生からは「世界に一つだけの花」の合唱も贈られました。心を込めて歌う姿と、その歌声に耳を傾ける3年生の表情からは、お互いを思い合う温かな気持ちが伝わってきました。会全体を通して、3年生への感謝と応援の気持ち、そして本校の生徒たちの優しさがあふれる、ほのぼのとした心温まる時間となりました。



卒業によせて

年度末を迎えた今、校内にはいつもとは少し違う、どこか特別な時間が流れています。春の訪れを感じさせるやわらかな日差しの中で、3年生は卒業の日を、1・2年生は進級の日をそれぞれに見据えながら、一日一日を大切に過ごしています。

何気ない日常の風景も、今の時期にはどこか「最後」という言葉を感じさせます。教室での語り、廊下ですれ違う何気ないあいさつ、仲間と過ごすいつもの時間。その一つ一つが、かけがえのない思い出として心に刻まれていく、そんな季節でもあります。

3年生には、仲間とともに過ごした日々への感謝と、自分の歩んできた道への誇りを胸に、感動と希望に満ちた卒業式を迎えてほしいと願っています。そして、それぞれの夢や目標に向かって、自分らしい一歩を力強く踏み出してほしいと思います。

教職員一同、そして在校生もまた、これまで学校を支えてきた3年生の姿に感謝しながら、その門出を心から祝福しています。皆さんの未来が明るく大きく開けていくことを願い、最後の一日まで、心を込めて応援しています。

この大平中学校という学び舎で過ごした日々が、これから先、迷ったときや立ち止まったときに、そっと背中を押してくれる温かな記憶となることを信じています。そして、この学校で出会った仲間や先生とのつながりが、これからも皆さんの人生をやさしく照らし続けてくれることを願っています。

卒業の日が、別れの日であると同時に、新しい物語の始まりの日となることを心から祈っています。



1年間ありがとうございました

早いもので、令和7年度も終わろうとしています。この一年間、生徒たちは日々の授業や学校行事、仲間との関わりの中で、それぞれに成長した姿を見せてくれました。その歩みを間近で見ることができ、大きな喜びを感じています。

また、保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、無事に一年間を乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。皆様に支えていただいたからこそ、充実した一年を重ねることができました。一年間、本当にありがとうございました。